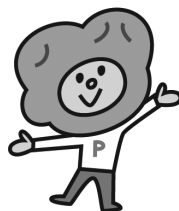


原子力 ワンポイント

日本の放射線・放射能基準
——福島第一原発事故(番外編⑱)



いつたい人はどのくらいセシウムを持っているの。
テツにい 放射線医学総合研究所(放医研)の内山正史氏は、大気圏内核実験が行われていた一九六四年から放射線で測定されたCs137の体内の量をグラフ化(II図1)しています。最大値は一九六四年の五百六十Bqで、K40の四千Bqと比較してみます。Cs137は体外への排出時間が

長いので、同じベクレル数なら、K40の二倍の強さで人体に影響を及ぼすことになるといわれており、その換算を行うと、K40の四分の一相当が体内にあったことになり、ほぼK40の十分の一に

では、K40と合わせて、セシウム134(Cs134)とCs137の年間摂取量を推計しています。福島県を例にとると、K40は〇・一九ミリシーベルト(mSv)、Cs134とCs137の合計は〇・〇二mSvとなり、

セシウム、福島でも核実験時の半分

大気圏内核実験の時には、自然放射性物質のカリウム40(K40)の四分の一にあたるセシウム137(Cs137)が五百六十ベクレル(Bq)体内にありまして、今回はその半分程度と推計されています。

大気圏内核実験の時には、自然放射性物質のカリウム40(K40)の四分の一にあたるセシウム137(Cs137)が五百六十ベクレル(Bq)体内にありまして、今回はその半分程度と推計されています。

ゲンくん セシウムによる内部被ばくを心配する人が多いけど、

体内の量をグラフ化(II図1)しています。最大値は一九六四年の五百六十Bqで、K40の四千Bqと比較してみます。Cs137は体外への排出時間が

長いので、同じベクレル数なら、K40の二倍の強さで人体に影響を及ぼすことになるといわれており、その換算を行うと、K40の四分の一相当が体内にあったことになり、ほぼK40の十分の一に

では、K40と合わせて、セシウム134(Cs134)とCs137の年間摂取量を推計しています。福島県を例にとると、K40は〇・一九ミリシーベルト(mSv)、Cs134とCs137の合計は〇・〇二mSvとなり、

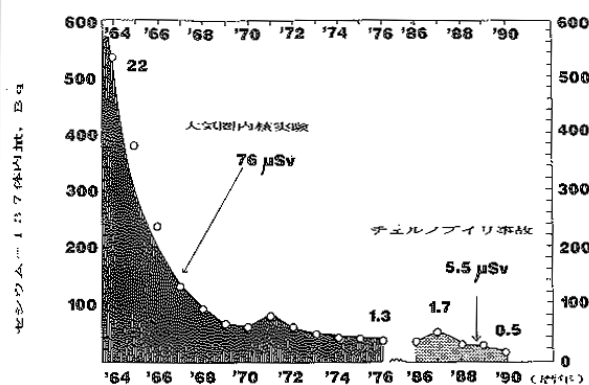


図1 成人男子群のセシウム-137体内量の推移

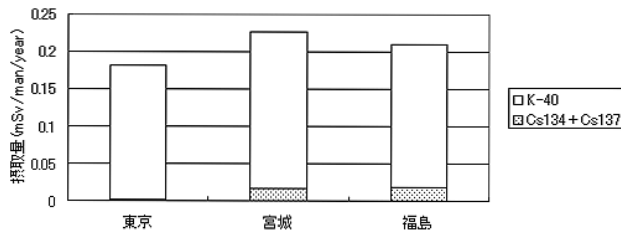


図2 地域別の放射性物質の年間摂取量

注) 厚労省の資料を基に本紙でグラフを作成した

下げるとか、神経伝達・はできません。筋肉の収縮などを助ける。私たちは内部被ばくと生まれた時から死ぬまで付き合わなければなりません。しかし、カリウムやセシウムは排泄を促す働きをするので、排泄を制限すること

は必要栄養素で、血圧を

は必要栄養素で、血圧を